

愚か者は

初めての調教生活

猫耳奴隸

に依存する

28

原案協力：出栖 土呂維

作：京極燈弥





.....

愚か者は猫耳奴隷に依存する ～初めての調教生活～

京極燈弥
原案協力:出栖 土呂維

.....

第28話



十数年前――

第28話

ではおさらいだ
魔法陣は

一陣につき
数百の文字から
成され

組み合わせで
さまざまな作用を
生み出せる

一度完成すれば
解読することは
非常に困難とされる
要因はここにある

知識と己の
魔法力がないと
解読はほぼ
不可能という
ことだね

魔法陣の
成り立ちの
基礎は以上だ

ここまでで何か
気になることは
ないか？

あ
カイト先生

質も

あっ

ドヤ



かまきりっ

でっかい

すごくない!?

最高新記録!!

キャー
ハッシー

ユキ

今は
授業中だっ!!

助手のキミが
邪魔して
どうする!?

えーだって
難しい話ばっかで
暇なんだもん!

全く…

で

それなら
外でとけっ!

ひびく





貴族で、魔法の
素養がある者は
魔法学校で
教育を受ける…

俺「バルド・
クライアン」は
寂れた辺境の
魔法学校で…

ただ一人の教師
「カイト・
フジエラ」と

その助手を
務める、オウラシ奴隷

「ユキねえ」と
長い時間を共に
過ごしていた

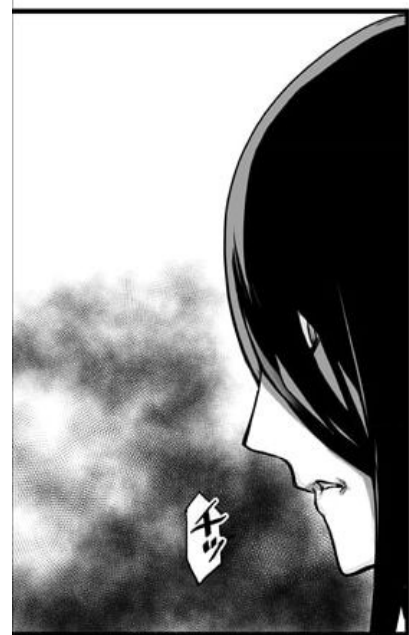
もうそんな
時間か…!

では一旦
休憩
1時間後に
再開する

ぱーんと
くんっ!

そろそろ
お昼の時間だよ

ガラ



楽しい時間は
速くたつ…

平穏で充実した
学校生活も
明日で卒業…

えっ？

都市の学校に
進学する!?
なんで！

じゃなくって!!

なんでそんな
大事なこと
言わなかったの!?

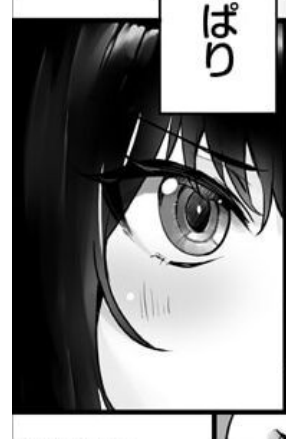
ここで学んだこと
もつと設備のある
学校で試したくて

エリオスも
一緒だよ

ワッ
ワッ



やっぴひ



ここじゃダメなの!?
いればいいじゃん!

ずっといると
思ってたのに!



そー!

分かったっ!



…だから俺は
ここにいちゃ
いけない—

—ッ!



彼女なら
そう言っと
分かっていた…

…
ごめん
決めたこと
だから…



好きになよ!
じゃあねっ!



バルド君が
そんな薄情だとは
思わなかった!

クライアン邸



いよいよ明日
出発ですわね
お兄様

そうだな

うかない
お顔ですわね

…お兄様？
まさかと
思いますか？

出発のご挨拶を
皆様に？

…
してない

なっ！

それは貴族として
…いえ人として
どうなんですかの!?

「挨拶」は
人が前に進む時に
必ず必要になる
ものですわ！

分かったなら
早くご挨拶に！

ふんす

…

…そりや
ごもつともだ

ユキねえには
なんて言おう…

…きつと
怒ってるよな

あれは…

エリオス？

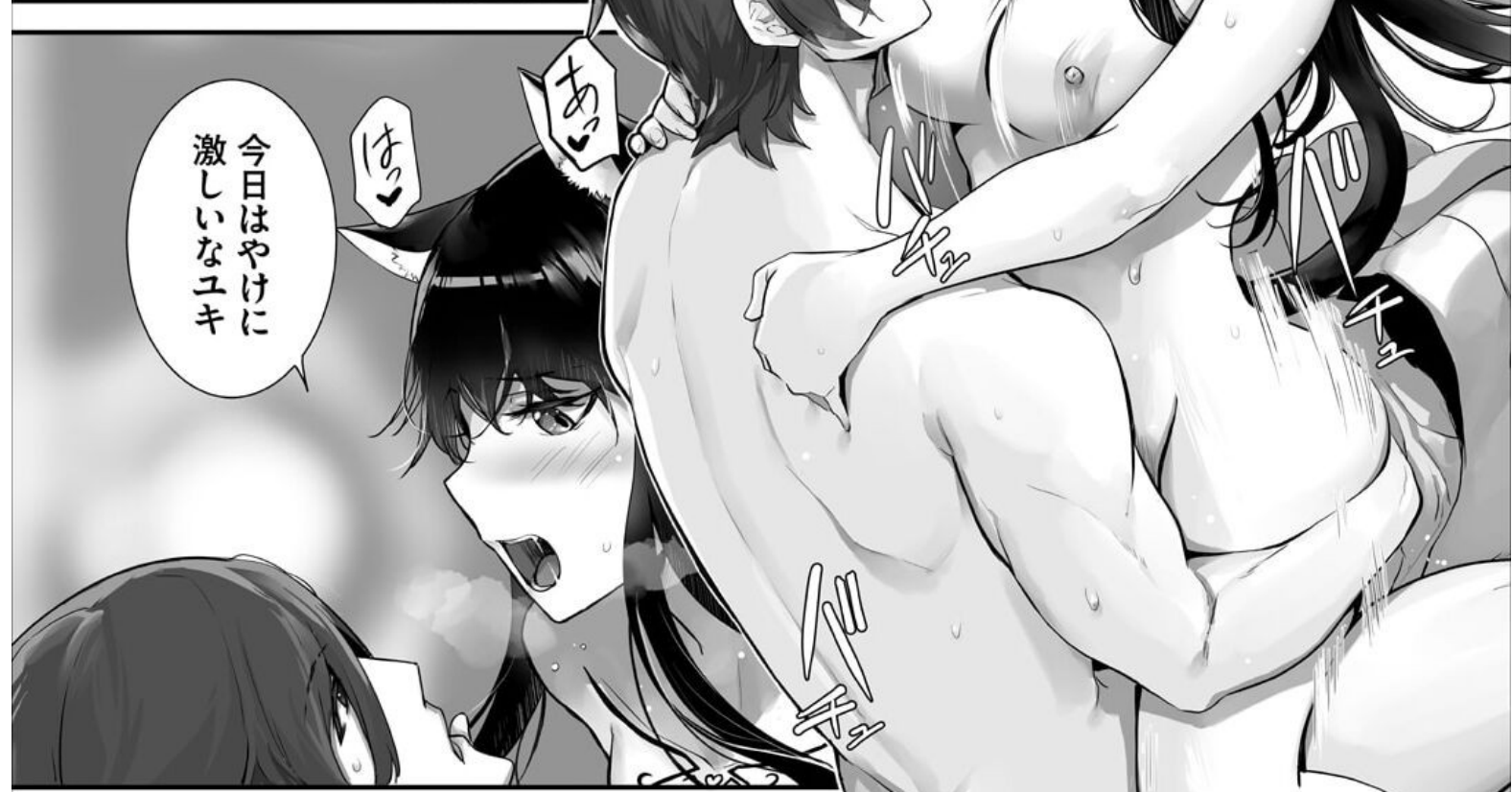
あいつも明日
出発だからな…
挨拶に来たのか？

…にしては
こそこそ
していたが

まあ
あいつもいるなら
多少気まずさは
薄まるか…？

お邪魔します





挨拶しに
来なかつた
—から



...



わっ
わっ

…私と
している最中に

他の男のことを
考えているのは
いささかな…

あ…

ごっ
ごめん—



この国の
主と奴隷
じゃない…

あーん♡

ほら

サク

穏やかで
家族のような
あの二人が…

あーん♡

あーん♡

あーん♡

あーん♡

あーん♡

あーん♡

あーん♡

いなくなつた
気がした—





...でもこれは普通と違う...?

もう

あっ

バズ

肉欲を食る

んっ

嬌声をあげて

バズ

んっ

バズ



んっ

ちゅっ

ちゅっ

んっ



んっ



な…何
泣いてんだ
俺は!

おいエリオス!
帰—



あ?



!?

キン…だお

お…

ア…

はあ。

はあ。

はあ。



帰るなら
一人で帰れ

今いいところ
なんだよ

は。



え!

バツ

はなせよッ

はなせよッ

はなせよッ

スリ

スリ



はあ?



あの二人を
汚すような目で
見るな!



だからな

奴隷はただの
愛玩道具だろ

バツ



何言ってるんだ
お前...?



普通は欲しがる
モンだ!



やめろ!

あの二人は
特別だって
分からないのか!



淫靡な
匂い

俺の欲望を全て満たす
あの奴隷を
手に入れたい!

めずらしい
きれいな黒髪

あの形の
いい乳房

あの声

プログラム



しっかりチンポ
勃起させてたのによ



きれいごとばっか…
気持ち悪いなお前

翌朝

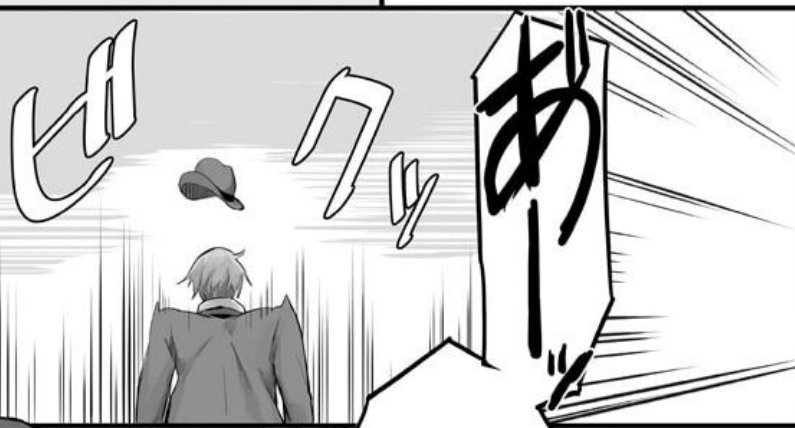
結局

挨拶できなかった…



昨日の光景と
エリオスの
言葉がぐるぐる
頭を巡って…

…もう二人に
顔向け
できないな



やっぱり！
何も言わずに
行こうとしてる
—っっ!!

走ると
転ぶぞ





なんで挨拶に
来ないかなあ!?
お世話になった人には
挨拶しろって親に
教わらなかったあ!?

おッ
おッ

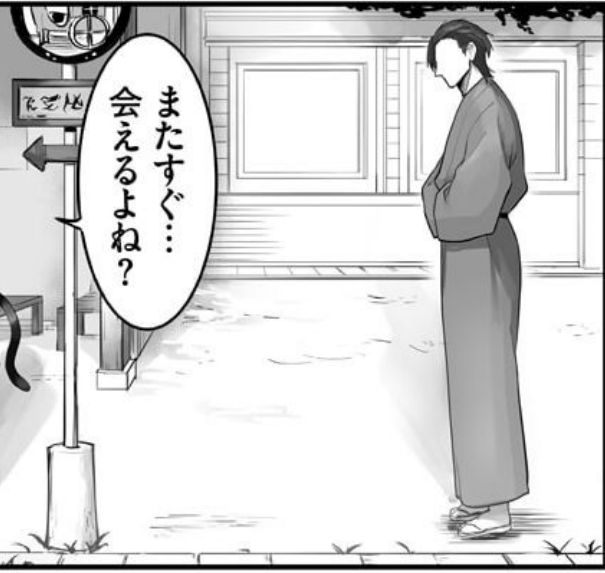
カッ
カッ



…昨日はあんなこと
言っちゃったけど
アタシ達は家族
みたいなものでしょ?



さすがに
寂しいよ…っ



またすぐ…
会えるよね?



俺は…
戻るつもりは



…



俺も
寂しいけど…

19タッ



そっ！
とーっても
大事な物だから

絶対に返しに
来ること！

分かった!?

...

返事は!?

分かった

近いうちに
必ずっ

絶対
だからね

よくてき
ました!

やれやれ

元気でねっ!

近いうちに
必ず——

手に入れてやる——ユキ

ユキ
やりすぎだ

TO BE CONTINUED...